

日本支社からのアップデート

EBMの先生方には平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

本ニュースレターでは、先日公開されましたMDPIの2024年アニュアルレポートの概要と日本支社の近況をご報告申し上げます。

2024年アニュアルレポートの概要

投稿と表彰の実績

2024年、MDPIには約60万件の原稿が投稿され、21万5,000人超の専門家による査読と、2,000名を超える編集責任者によるご支援をいただきました。

また、MDPIでは優れた科学研究を支援する取り組みにも注力しています。2024年は計448の賞を設け、世界中の研究者1,040名が受賞し、賞金総額は66万スイスフランに達しました。

国際連携の進展

MDPIは、世界中の大学・図書館・学術団体との提携を通じて、出版の障壁を取り除き、科学研究の国際的な普及を支援しています。

2024年には新たに68機関と提携を結びました。また、ドイツ医学中央図書館との提携により110の大学・研究機関を対象とする契約を締結し、支払いワークフローの合理化や論文掲載料の大幅な割引が実現しました。

さらに、英国のJisc、スウェーデンのBibsamとのコンソーシアム契約を更新し、韓国・中国・ルーマニアなどへの事業拡大も進めております。

正式な合意に加えて、2024年は15の学術会議に参加し、各機関との意見交換を実施し、現場のニーズに基づいたサービスの改善を行いました。

日本支社の近況報告

ISFMS 2025 in 京都

第5回 International Symposium on Frontiers in Molecular Science (ISFMS 2025) が、今年8月に京都府立京都学・歴史館および稲盛記念会館にて開催されます。

5月現在、ご投稿いただいているアブストラクトの数はすでに200件を超えており、約80%が海外からの投稿または出席予定者となっております。

新メンバー入社

日本支社では、2025年4月に2名、5月に2名の新メンバーが加わり、総勢14名体制となりました。

新体制のもと、これまで以上に研究者の皆様への丁寧なサポートに努めてまいります。

ブース出展予定のお知らせ

2025年5月25日より幕張メッセにて開催される「日本地球惑星科学連合2025年大会」に、MDPIがブースを出展いたします。

会場にお越しの際は、ぜひ弊社ブースへお立ち寄りいただけますと幸いです。

EBMご推薦のお願い

MDPIの一部ジャーナルでは新たなEBMを募集しております。日本の優れた研究者の皆様ぜひご参画いただきたく、ご推薦いただける方がいらっしゃいましたらぜひお知らせください。

【EBMの皆様への特典】

- ①毎年1報、論文掲載料が無料（2報目から割引価格）
- ②ご主催学術会議への協賛など
- ③学会運営・広報ツールSciforumの基本利用料が無料

センサ関連分野の研究者様へのお知らせ

MDPIは、第11回国際センサ科学シンポジウム「11th International Symposium on Sensor Science (ISS 2025)」を2025年11月17日～19日、スペイン・バルセロナにて開催いたします。本会議は、センサとその応用に関する最新のトピックにスポットライトを当てています。詳細はウェブサイトかチラシをご覧ください。[ウェブサイト/日本語チラシ](#)

もしご興味ございましたら、ご所属の学会事務局様に、本会議との無料のPartnership（提携）の手続きをご依頼いただけますと幸いです。日本リモートセンシング学会/日本マスキング学会/日本臨床工学技士会各学会様には、既に用紙をお送りいたしております。

本会議とご所属の学会様が提携していただければ、提携学会会員様は登録料が20%割引となります。

提携につきましてご質問などございましたら info-tokyo@mdpi.com までご連絡ください。